

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA研)
第5回文法研究ワークショップ 複数性(1)

「文法研究ワークショップ」は、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、最新の情報の共有を目的としたワークショップです。

言語を記述する際に、「複数性」に関する問題に直面することが少なからずあります。数による語の屈折という基本的な問題のほか、

「数の標示が義務的でない言語において、実際に数が標示されるのはどのような場合か？」

「数とは直接関係しない要因（有生性など）が、数標示にどのような影響を及ぼすのか？」

「接辞付加と重複のように数を標示する手段が複数ある場合、どのような違いがあるのか？」

「先行研究で数を標示すると記述されているある要素について実際に調査してみると、多様な用法を持っていることが分かった」

など、皆さんもこれまでの研究で、一度は「複数性」に関する問題について考えたことがあると思います。本ワークショップは、そうした「複数性」について問題を共有し、共に考える場となることを目指します。

記

1. 開催日時：2014年2月1日（土）14:30～17:30
2. 会場：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所3階306号室
3. 発表：

新永 悠人（日本学術振興会特別研究員PD／東京外国語大学）

「文法数の恣意性：北琉球奄美大島湯湾方言において1つの対象を指す「複数」標識」

宮川 創（京都大学大学院）

「コプト・エジプト語サイド方言の複数性」

※お席に限りがありますので、事前に申し込みをお願いいたします。次の情報を下記「申込先」に電子メールでご送付下さい。電子メールの件名は必ず「文法研究WS参加希望」として下さい。申込締切は、2014年1月26日（日）です。

- (1) 氏名（ふりがな）
- (2) 所属
- (3) メールアドレス
- (4) 動画公開時のプライバシー：(A)顔が映っても問題ない (B)顔が映るのはNG

申込先：言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開（LingDy2）事務局
lingdy-office[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

※本ワークショップは、遠方からの参加も可能になるよう、Ustreamによりインターネット中継を行います。Ustreamによる参加ご希望の方は、上記(1)～(3)の情報、および、Ustream観覧希望の旨を明記の上、2014年1月26日（日）までに上記「申込先」まで電子メールでご連絡ください。

※3月18日（火）に「複数性」の第2回目を開催する予定です。そちらの方もぜひご参加ください。

以上

文法研究ワークショップは、「言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開」（LingDy2プロジェクト）が企画・運営しています。本ワークショップに関するお問い合わせはLingDy2事務局まで、電子メールでお送りください。アドレス：lingdy-office[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信してください）。